

令和4年度
赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 第1回幹事会
<記録概要>

開催日時 令和4年5月31日(火) 14:00~15:15

会 場 赤羽会館 大ホール

出席者 協議会幹事:15名

オブザーバー:3名

事務局:(北区まちづくり推進課)坂本、猪越、荒川、梶川、福島

コーディネーター:都市企画工房 金内、山中

=====

1. 開会

(会長挨拶)

皆さんこんにちは。本日は赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会に、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。今年度の幹事会では、先の総会で承認されました令和3・4年度活動方針に沿った活動を進め、「地区のゾーニング構想」の具現化とともに、再開発事業等の新しいまちづくりの進捗にあわせ、将来のまちづくりについて一層の検討を深め、みなさんによって、まとめられた複数のプランや提言をもって、年度内により多くの方に参加いただける「まちづくり懇談会」を開催したいと考えております。協議会活動が有意義なものとなるよう、皆様の積極的なご意見をいただければと思います。

2. 議題

- (1) これまで実施したグループワークやインタビューの振り返り
(コーディネーターより令和4年度の協議会等の運営について)

ゾーニング構想づくりや過去のグループインタビュー等の成果を掘り下げていくことで、地域の拠点施設(赤羽小学校)の在り方をはじめ、将来のまちづくりにおいて、地域として求める方向性を、「まちづくりの提言」のような形でまとめていくことを考えている。まずはそのたたき台としての提言(案)となるものを、今後数回の幹事会で作ってみたいと思う。その提言(案)を懇談会でお示して広くまちの方々のご意見を聞く機会が必要と考えており、その過程をオープンにして地域と情報共有しながらまとめていくことが大切で、協議会の重要な役割だと思う。この懇談会を今年度内には開催し、そこでの意見等をもう一度フィードバックし、見直すべきところは見直して最終的な提言として取りまとめるという流れを考えている。

当面の幹事会でまとめる提言(案)の体裁だが、懇談会でお示して地域の方々との意見交換等の題材とするため、できる限りわかりやすい形式、例えば文字ばかりでなく、イメージ図等を使うなどでまとめていけたら良いと考えている。

(コーディネーターよりグループワークやインタビューの振り返り等)

ゾーニング構想、再開発事業の動き、第一地区の日影のシミュレーション動画、平成30年度幹事会グループワーク・令和元年度グループインタビューの振り返り

(2) 参考事例の紹介(コーディネーターより参考事例の紹介)

足立区パークリノベーション、豊島区小さな公園活用プロジェクト、南池袋公園、イクサンパーク、渋谷区宮下公園、八重洲二丁目北地区市街地再開発事業、東京都「都市づくりのランドデザイン」、北区都市計画マスタープラン2020の紹介

(3) 次回グループワークのテーマについて

(コーディネーターよりグループワークのテーマ出し説明)

次回グループワークのテーマ出しをやっていただこうと思う。これまでの意見を見返してテーマの種になるようなことを洗い出していただければと思う。例えば〇〇のまち赤羽、△△なまち赤羽、◇◇があるまち赤羽などといったような赤羽の特長はこれ、赤羽をひとことで言うと、といった感じで赤羽のキャッチフレーズなど思いつくものをどんどん出して下さい。

質疑応答(○:参加者、▲:事務局・コーディネーター)

○高層ビルが出来たときに赤羽小学校の日影が心配だという話があったのだが、日影のシミュレーションの動画を見ると、結構日は当たるという考え方で良いのか。

▲お見せした日影のシミュレーションは第1地区だけのものとなっている。

○第2地区も第3地区も決まった話ではない。とりあえずみんなが心配しているのは、第1地区のビルが出来た時にどうなるかということだと思うが、先ほどの動画を見る限りでは、さほど心配はないということが良いか。

▲今まで日が当たっていた所が当たらなくなったということは、教育環境面で良い方向になっていないと思う。この後第2地区や第3地区で仮に同じようなビルが建ち、同じような日影の動きをした時に、相当の影響はあるだろうとは推測できる。地域の拠点としてどのような土地利用をしていけば良いのかを考える際の参考として頂きたい。

○第2地区と第3地区は作られるかどうか分からないので、分からないものを心配する必要はないと思う。第1地区のビルができた段階では、日影については何も問題ないという認識で良いのではないか。日影ができないように第2地区第3地区の建物は高くないものにするという議論もするべきと思う。

▲第2地区と第3地区は第1地区と比べると、まだまだ事業化の手前ではあるが、事業化されたときには相当規模の建物になるので、まだ決まっていないからその部分は全く無視して良いという発想にはなれない。むしろ事業化される前提で検討しているので、出来たときを考えて、災害対応ではないが、今から影響のある方で物事を考えていくべきだと思う。

○日影のシミュレーション動画を出した理由は。

▲赤羽駅東口地区のまちづくりを検討していくにあたり、一番大事な場所だと位置づけている赤羽小学校が、再開発ビルの日影の影響を受けるという情報を共有できているわけではないので、事業を進める側から示されたものを共有している。皆さんがあの日影をどう感

じたかをもとに話ができれば良いと思う。

○公園の位置づけの事例紹介があったが、その地域をどう活性化するかというなかで、公園が大切な位置づけにあるということが知りたい。どういう公園を作ったかも大切だが、まちづくりのなかで公園というのがどのような位置づけなのかが一番知りたかった。

▲これから行ってもらう作業のなかで、例えば日影の事について影響が大きいと思った方が良いのか、小さいと思った方が良いのかということが出てくると思うが、ご自身が見て、例えば影響が大きいと思ったら、それをもとにどうしたら良いのかを考えていただけたらと思っている。皆さんがそれぞれ判断してご意見出しをしていただければと思う。

(グループワークのテーマ出しを3班に分かれて実施)

(コーディネーターよりグループワークのテーマ出しの取りまとめ)

今回のグループワークに向けた準備ということで、ご意見を出していただいたと思うが、次回までに我々の方で、こういうことがテーマなのではというものをいくつかまとめてみたいと思う。それをもとにグループごとに一つのテーマについて様々な視点から意見交換していただき、どんどん掘り下げていくうちに何かイメージが出てくるのではないかと期待感をもっています。せっかくこのような協議会の場なので、区にこうしてほしいという事ばかりではなく、自分達が考えているからこういう方向で進めてほしいというような話になっていくと良いのではないかと考えている。

3. その他

(事務局より次回幹事会の開催案内)

本日取り組んでいただいた内容をもう少し膨らませた形で、次回以降のワークショップに取り組んでいただきたいと考えている。次回の開催予定だが、今日議論した内容が温かいうちに、間を空けないように実施したいと考えており、概ね1か月後で7月5日(火)の14時から、本日と同じく赤羽会館大ホールで開催させていただければと思う。幹事の皆様と区議会議員の皆様には文書にてご案内をさせていただきます。

※この記録概要は、幹事の方々のみに送付をしています。

【事務局】

北区まちづくり部まちづくり推進課

担当：荒川、梶川、福島

電話：03-3908-9154

FAX：03-3908-2244

◆当日の様子

